

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	血液形態検査学2		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年1組 3年2組		学期及び曜時限	前期 土曜日1、2限 3、4限	教室名	1校舎 901 902
担 当 教 員	鳩宿敏彦	実務経験とその関連資格	星ヶ丘厚生年金病院検査部、臨床検査技師(認定血液検査技師、骨髓認定検査技師)			
《授業科目における学習内容》						
①血液中の有形成分の発生と分化を理解することで血液学の基礎を学習する。②血液検査法を学び、臨床的意義や検査データの見方・考え方を学習する。③血液疾患について病態を学び、医師の診断に寄与することを学習する。④国家試験に向けて知識を養う。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験10割						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
血液検査学(医歯薬出版) 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
配布資料を中心にノートをまとめる						
《履修に当たっての留意点》						
血液の基礎をしっかりと復習し、国家試験問題等に対応できる知識を養う						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の造血と発生・分化および成分・分析について理解できるようになる。	配布資料		
		各コマにおける授業予定	講義:血液の基礎、血球の発生と分化、成分分析			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の造血と発生・分化および成分・分析について理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。	配布資料		
		各コマにおける授業予定	講義:総合演習			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	自動血球計数装置について理解できるようになる。	配布資料		
		各コマにおける授業予定	講義:自動血球計数装置の原理			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	自動血球計数装置について理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。	配布資料		
		各コマにおける授業予定	講義:自動血球計数装置の問題点、総合演習			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	赤血球系の成熟過程を理解できるようになる。	配布資料		
		各コマにおける授業予定	講義:赤血球の発生			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	赤血球系の成熟過程を理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。	配布資料	
		各コマにおける授業予定	講義:赤血球の構造、ヘモグロビン、総合演習		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	赤血球の形態異常、疾患(貧血、多血症)について理解できるようになる。	配布資料	
		各コマにおける授業予定	講義:赤血球の形態、異常形態、赤血球に関する疾患		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	赤血球の形態異常、疾患(貧血、多血症)について理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。	配布資料	
		各コマにおける授業予定	講義:赤血球の形態、異常形態、赤血球に関する疾患、総合演習		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	白血球系の機能、形態および骨髄検査について理解できるようになる。	配布資料	
		各コマにおける授業予定	講義:白血球の機能、形態、異常形態および骨髄検査		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	白血球系の機能、形態および骨髄検査について理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。	配布資料	
		各コマにおける授業予定	講義:白血球の機能、形態、異常形態および骨髄検査、総合演習		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	特殊染色、細胞表面抗原、染色体・遺伝子検査を理解できるようになる。	配布資料	
		各コマにおける授業予定	講義:特殊染色、細胞表面抗原、染色体・遺伝子検査		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	特殊染色、細胞表面抗原、染色体・遺伝子検査を理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。	配布資料	
		各コマにおける授業予定	講義:特殊染色、細胞表面抗原、染色体・遺伝子検査、総合演習		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器の疾患(概要)を理解できるようになる。	配布資料	
		各コマにおける授業予定	講義:造血器の疾患①		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器の疾患を理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。	配布資料	
		各コマにおける授業予定	講義:造血器の疾患①、総合演習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器の疾患(骨髄系)を理解できるようになる。	配布資料	
		各コマにおける授業予定	講義:造血器の疾患(骨髄系)		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	血液形態検査学2		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年1組 3年2組		学期及び曜時限	前期 土曜日1、2限 3、4限	教室名	1校舎 901 902
担 当 教 員	鳩宿敏彦	実務経験と その関連資格	星ヶ丘厚生年金病院検査部、臨床検査技師(認定血液検査技師、骨髄認定検査技師)			
《授業科目における学習内容》						
①血液中の有形成分の発生と分化を理解することで血液学の基礎を学習する。②血液検査法を学び、臨床的意義や検査データの見方・考え方を学習する。③血液疾患について病態を学び、医師の診断に寄与することを学習する。④国家試験に向けて知識を養う。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験10割						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
血液検査学(医歯薬出版) 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
配布資料を中心にノートをまとめる						
《履修に当たっての留意点》						
血液の基礎をしっかりと復習し、国家試験問題等に対応できる知識を養う						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器の疾患(骨髄系)を理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。	配布資料		
		各コマにおける授業予定	講義:造血器の疾患(骨髄系)、総合演習			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器の疾患(リンパ系①)を理解できるようになる。	配布資料		
		各コマにおける授業予定	講義:造血器の疾患(リンパ系)、ホジキンおよび非ホジキンリンパ腫			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器の疾患(リンパ系①)を理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。	配布資料		
		各コマにおける授業予定	講義:造血器の疾患(リンパ系)、ホジキンおよび非ホジキンリンパ腫、総合演習			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器の疾患(リンパ系②)を理解できるようになる。	配布資料		
		各コマにおける授業予定	講義:造血器の疾患(リンパ系②)、多発性骨髄腫			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器の疾患(リンパ系②)を理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。	配布資料		
		各コマにおける授業予定	講義:造血器の疾患(リンパ系②)、多発性骨髄腫、総合演習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第22回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第23回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第24回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第25回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第26回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第27回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第28回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第29回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第30回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				